

新興国為替ファンド インドルピー売り

運用報告書（全体版）（満期償還）
（償還日 2017年9月11日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／その他資産（通貨）／特殊型（ブル・ベア型） | |
| 信託期間 | 2012年9月5日から2017年9月11日まで | |
| 運用方針 | 日々の基準価額の値動きが、インドルピーの円からみた日々の騰落率と「概ね同程度反対」となる投資成果を目指して運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | 円建の外国投資信託であるエマージング・カレンシー・ファンド クラスD-インドルピーショートおよび国内投資信託であるT&Dマネーアカウントマザーファンドを主要投資対象とします。 | |
| | エマージング・カレンシー・ファンド クラスD-インドルピーショート | 主として円建の短期の日本国債を投資対象とします。原則として純資産相当額の円買い／インドルピー売りの為替取引（NDF取引を含みませぬ）を行います。 |
| | T&Dマネーアカウントマザーファンド | わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。 | |
| 分配方針 | 毎決算時（9月10日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 | |

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「新興国為替ファンド インドルピー売り」は、信託約款の規定に基づき、2017年9月11日に信託期間を満了し償還となりましたので、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。
これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
<http://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 債組入比率 | 債券先物比率 | エマーゼン・カレンシー・ファンドクラスD-インドルビークラスD-ショート組入比率 | 純資産総額 |
|------------------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--|-----------|
| | (分配) | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | | | |
| 設定日 2012年9月5日 | 円 10,000 | 円 — | % — | % — | % — | % — | 百万円 10 |
| 1期 (2013年9月10日) | 7,972 | 0 | △20.3 | 0.0 | — | 97.9 | 16 |
| 2期 (2014年9月10日) | 6,216 | 0 | △22.0 | 0.0 | — | 98.3 | 12 |
| 3期 (2015年9月10日) | 5,342 | 0 | △14.1 | — | — | 98.2 | 10 |
| 4期 (2016年9月12日) | 5,623 | 0 | 5.3 | — | — | 98.5 | 11 |
| 償還日 5期 (2017年9月11日) | (償還価額) 4,525.28 | | △19.5 | — | — | — | 9 |

(注) 基準価額および分配金は1口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、比較対象として適切なものがないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 債組入比率 | 債券先物比率 | エマーゼン・カレンシー・ファンドクラスD-インドルビークラスD-ショート組入比率 |
|------------------------|--------------------|--------|--------|--------|--|
| | 騰落率 | | | | |
| 期首 (前期末) 2016年9月12日 | 円 5,623 | % — | % — | % — | % 98.5 |
| 9月末 | 5,661 | 0.7 | — | — | 98.5 |
| 10月末 | 5,412 | △3.8 | — | — | 98.5 |
| 11月末 | 5,144 | △8.5 | — | — | 98.5 |
| 12月末 | 4,889 | △13.1 | — | — | 98.5 |
| 2017年1月末 | 4,913 | △12.6 | — | — | 98.5 |
| 2月末 | 4,899 | △12.9 | — | — | 98.7 |
| 3月末 | 4,777 | △15.0 | — | — | 98.7 |
| 4月末 | 4,674 | △16.9 | — | — | 98.3 |
| 5月末 | 4,676 | △16.8 | — | — | 98.4 |
| 6月末 | 4,574 | △18.7 | — | — | 98.4 |
| 7月末 | 4,569 | △18.7 | — | — | 98.5 |
| 8月末 | 4,549 | △19.1 | — | — | 98.5 |
| 償還日 2017年9月11日 | (償還価額) 4,525.28 | △19.5 | — | — | — |

(注) 基準価額は1口当たり。騰落率は期首比。

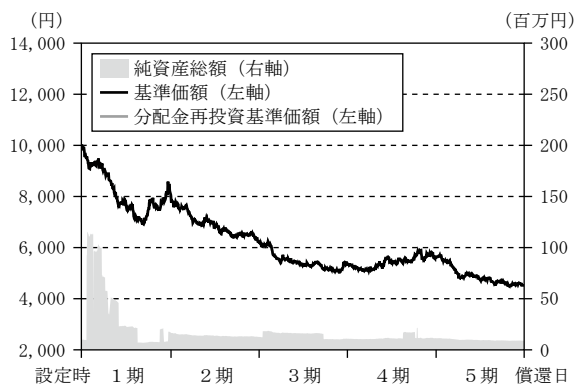
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、比較対象として適切なものがないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

設定以来の運用経過

■ 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2012年9月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

主に外国投資信託「エマージング・カレンシー・ファンド クラスDーインドルピーショート」に投資した結果、インドルピーが対円で上昇したことがマイナス寄与し、基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

■ 投資環境

【為替市場】

第1期（設定日～2013年9月10日）

インドルピーは対円で上昇しました。期初は、2012年9月、10月と日銀が2ヵ月連続で追加金融緩和を実施したことに加えて、9月に米国ではFRB（米連邦準備制度理事会）がQE3（量的金融緩和第3弾）を決定したこと等を受けて投資家のリスク許容度が改善し、インドルピーは円に対して上昇しました。12月には、日本の衆議院総選挙の実施が決定され、政権交代への期待感が高まる中、自民党安倍総裁が無制限金融緩和等の大胆なリフレ政策を打ち出したことで、円はインドルピーに対して下落しました。2013年1月に日銀が「物価安定の目標」を消費者物価の前年比上昇率で2%と決定したことや、4月に黒田日銀新体制の下で新たな金融緩和策「量的・質的金融緩和」の導入が決定されたこと等から、円はインドルピーに対して一段と下落しました。5月以降、米国でバーナンキFRB議長が年内のQE3縮小の可能性に言及したこと等から、市場でも将来の金融政策の引締めが意識され、投資資金が新興国市場から流出しました。インドでは金融引締め等の種々の通貨防衛策が打ち出されましたが、経常収支が大幅な赤字であることや、景気の弱含みが続く中での金融引締めにより一層の景気減速が懸念されたこと等から、インドルピーは新興国通貨の中でも相対的に大きな下落幅となりました。

第2期（2013年9月11日～2014年9月10日）

インドルピーは対円で上昇しました。期初から2013年12月にかけては、日本における大規模な金融緩和や貿易赤字が円安要因となったことに加え、インドのファンダメンタルズの改善や利上げによるインフレ抑制姿勢が好感され、インドルピーは円に対して上昇しました。2014年1月には、以前から燻っていた中国のシャドーバンキング問題への懸念が高まったことに加え、中国の製造業PMI（購買担当者景気指数）の悪化、アルゼンチンペソの急落等から新興国通貨が軒並み下落したことを受け、インドルピーも円に対して下落しました。2月から期末にかけては、新興国通貨に対する過度なリスク回避姿勢が後退したことや、イエレンFRB議長のハト派的な姿勢により米国の利上げ期待が高まらなかったこと等が新興国通貨にプラスに働いたほか、日本においても追加金融緩和期待が燻り続けたことから、インドルピーは対円で上昇しました。

第3期（2014年9月11日～2015年9月10日）

インドルピーは対円で上昇しました。期初は他の新興国通貨と同様に下落方向で推移したものの、モディ政権下における経済ファンダメンタルズの改善と構造改革への期待は根強く、下値は限定的でした。2014年10月下旬に入ると、日銀による量的金融緩和拡大の発表等を受けた円安米ドル高の



(注) 為替レートは、ノムラ・バンク（ルクセンブルグ）エス・エーより入手した対ユーロ為替を当社が円換算したものです。

（2014年12月29日までは、ロンドンの18：00の対米ドルNDF為替（出所：Bloomberg）を当社が円換算したものです。）

(注) 当ファンド基準価額への組入投資信託基準価額の反映を考慮して、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

流れを受けて大きく上昇しました。12月に入るとロシアルーブルの急落から新興国通貨に対する売り圧力が強まったことで一時急速に下落したものの、政治に対する改革期待の根強さや原油安が材料となり、2015年3月末にかけて上昇基調で推移しました。この間インド準備銀行は政策金利を2度引下げましたが、景気支援効果が意識され上昇要因となりました。4月以降も、インド準備銀行が6月に追加利下げを行ったこともあり、堅調に推移しましたが、8月下旬の世界的な株価急落を受けて、インドルピーも期末にかけて下落しました。

第4期（2015年9月11日～2016年9月12日）

インドルピーは対円で下落しました。期初はインド準備銀行が実施した追加利下げを背景にしたインド株高や、貿易赤字縮小等インドのファンダメンタルズ改善が好感され、堅調に推移しました。2015年11月に入ると、地方選挙でのモディ首相率いる与党の惨敗で経済改革停滞が懸念されたことから上値の重い展開となりました。2016年1月から2月にかけては、中国の株価急落や資源価格下落に伴い新興国の経済全般に懸念が高まったこと等を受け、下落しました。3月以降は、財政健全化の方針を維持する予算案が好感され持ち直す場面もありましたが、インド準備銀行のラジャン総裁が退任するとの報道や、6月の英国のEU（欧州連合）離脱決定に伴う懸念等から、インドルピー安が進行しました。その後は、米国の早期利上げ観測を受けた円安米ドル高の流れやインド議会で物品サービス税法案が可決されたことを受け、持ち直しの動きとなりました。

第5期（2016年9月13日～償還日）

インドルピーは対円で上昇しました。期初は横ばい圏で推移しましたが、2016年11月の米国大統領選挙の結果、米国新政権が掲げる財政刺激策への期待等を受けて日米の金利差が拡大する中、急速に円安米ドル高が進んだことから、インドルピーも対円で上昇しました。2017年に入ると、高額紙幣の廃止をめぐる懸念がインドルピーの圧迫要因となったものの、1月末に発表されたインド政府の予算案が好感されたほか、2月から3月にかけてインドの主要州議会選挙における与党の勝利を受けて、インドルピーは堅調に推移しました。その後は、インド準備銀行の利下げによる景気刺激の期待がインドルピー高要因となった一方、米政権の政策運営に対する懸念や北朝鮮を巡る地政学リスク等が円高要因となり、期末にかけてインドルピーは対円でやや弱含んで推移しました。

【国内短期金融市場】

第1期（設定日～2013年9月10日）

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の0.100%から期末は0.090%となりました。日銀の黒田新体制の下で大胆な金融緩和が実施されるとの期待感が高まったことから、利回りは一時0.04%程度まで低下しましたが、その後、日銀の国庫短期証券買入オペの減額等により再度上昇しました。

第2期（2013年9月11日～2014年9月10日）

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の0.090%から期末は△0.001%となりました。2013年4月より導入された「量的・質的金融緩和」のもと、日銀の国庫短期証券買入オペによって需給がひっ迫し、利回りは低下しました。

第3期（2014年9月11日～2015年9月10日）

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.001%に対して、期末も同水準の△0.001%となりました。期中においては日銀による国庫短期証券買入オペ金額の増減によって、若干の利回りの変動はあったものの、需給がひっ迫した状況が続きました。

第4期 (2015年9月11日～2016年9月12日)

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.001\%$ から期末は $\Delta 0.315\%$ となりました。日銀による大規模な国庫短期証券の買入オペが継続したことや2016年1月末にマイナス金利政策の導入が決定されたこと等から利回りは低下しました。

第5期 (2016年9月13日～償還日)

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.315\%$ から償還時は $\Delta 0.183\%$ となりました。日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」等の短期金利を低位に抑える金融政策が継続しましたが、日銀の国庫短期証券買入オペ動向に対する不透明感の高まり等から利回りは上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

信託期間を通じて、「エマージング・カレンシー・ファンド クラスDーインドルピーショート」を高位に組入れ、残りの資産につきましては「T&Dマネーアカウントマザーファンド」およびコールローン等で運用を行いました。満期償還に伴い、2017年9月上旬から償還日までコールローン等による安定運用を行いました。

【エマージング・カレンシー・ファンド クラスDーインドルピーショート】

為替取引（NDF取引を含みます）を通じて、インドルピーの円からみた日々の騰落率と概ね同程度反対となる投資成果を目指して運用を行いました。

【T&Dマネーアカウントマザーファンド】

国債の組入比率は、純資産総額の増減が激しいこともあり低位に抑え、国債の利回りがマイナスとなった局面では組入れを見送り、2016年3月より0%といたしました。残りの資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

1口当たりの費用明細 (2016年9月13日から2017年9月11日まで)

費用の明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|---|-----------------------------------|---|--|
| | 2016/9/13~2017/9/11 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| 平均基準価額 | 4,894円 | | 期中の平均基準価額です。 |
| (a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社) | 33円 (16) (16) (2) | 0.679% (0.323) (0.323) (0.032) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 (監査費用) | 1 (1) | 0.014 (0.014) | (b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合計 | 34 | 0.693 | |

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2016年9月13日から2017年9月11日まで)

(1) 投資信託証券

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|--------------|--------------------------------------|--------|---------|--------------------|----------------------|
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 外 国 (邦貨建) | エマージング・カレンシー・ファンド クラスD-インドルピーショート | 口 - | 千円 - | 口 37 (1,951) | 千円 181 (8,879) |

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(注) () 内は分割、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| | 設 定 | | 解 約 | |
|--------------------|---------|---------|----------|----------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| T&Dマネーアカウンタマザーファンド | 千口 - | 千円 - | 千口 20 | 千円 20 |

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2016年9月13日から2017年9月11日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2017年9月11日現在)

償還時における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2017年9月11日現在)

| 項 目 | 償 還 時 | |
|-------------------------|-------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 千円 9,042 | % |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 9,042 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および償還価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および償還価額の状況

2017年9月11日現在

| 項 目 | 償 還 時 |
|------------------------|-------------|
| (A) 資 産 | 9,042,299円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 9,042,299 |
| (B) 負 債 | 32,476 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 31,705 |
| 未 払 利 息 | 16 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 755 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A-B) | 9,009,823 |
| 元 本 | 19,910,000 |
| 償 還 差 損 益 金 | △10,900,177 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 1,991口 |
| 1 口 当 たり 償 還 価 額 (C/D) | 4,525円28銭 |

- (注) 期首元本額 20,230,000円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 320,000円
 (注) 償還時現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は10,900,177円です。
 (注) 1口当たり純資産額は4,525.28円です。

損益の状況

当期 自2016年9月13日 至2017年9月11日

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------|---------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | △ 109円 |
| 支 払 利 息 | △ 109 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △ 2,118,210 |
| 売 買 益 | 23,114 |
| 売 買 損 | △ 2,141,324 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 68,123 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A+B+C) | △ 2,186,442 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | △ 795,868 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 7,917,867 |
| (配 当 等 相 当 額) | (△ 30) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△ 7,917,837) |
| 償 還 差 損 益 金 (D+E+F) | △10,900,177 |

- (注) 損益の状況の中で
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

投資信託財産運用総括表

| 信託期間 | 投資信託契約締結日 | 2012年9月5日 | | 投資信託契約終了時の状況 | |
|----------|-------------|-------------|------------|--------------|------------|
| | 投資信託契約終了日 | 2017年9月11日 | | 資産総額 | 9,042,299円 |
| 区分 | 投資信託契約締結当初 | 投資信託契約終了時 | 差引増減又は追加信託 | 負債総額 | 32,476円 |
| | | | | 純資産総額 | 9,009,823円 |
| 受益権口数 | 1,010口 | 1,991口 | 981口 | 受益権口数 | 1,991口 |
| 元本額 | 10,100,000円 | 19,910,000円 | 9,810,000円 | 1口当たり償還金 | 4,525.28円 |
| 毎計算期末の状況 | | | | | |
| 計算期 | 元本額 | 純資産総額 | 基準価額 | 1口当たり分配金 | |
| | | | | 金額 | 分配率 |
| 第1期 | 21,130,000円 | 16,844,401円 | 7,972円 | 0円 | 0.0000% |
| 第2期 | 20,420,000円 | 12,693,732円 | 6,216円 | 0円 | 0.0000% |
| 第3期 | 20,400,000円 | 10,898,414円 | 5,342円 | 0円 | 0.0000% |
| 第4期 | 20,230,000円 | 11,376,225円 | 5,623円 | 0円 | 0.0000% |

償還金のご案内

| | |
|--------------------------|-----------|
| 1口（元本10,000円）当たり償還金（税込み） | 4,525円28銭 |
|--------------------------|-----------|

お支払場所 取扱販売会社 本・支店

組入投資信託証券の内容

エマージング・カレンシー・ファンド

クラスA－韓国ウォンロング／クラスB－韓国ウォンショート
 クラスC－インドルピーロング／クラスD－インドルピーショート
 クラスE－トルコリラロング／クラスF－トルコリラショート
 クラスG－ブラジルリアルロング／クラスH－ブラジルリアルショート

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | | | |
|-------------------|--|-------------------|----------------------|-------------------|
| 分 類 | ケイマン籍／外国投資信託／円建 | | | |
| 運用の基本方針 主な投資対象 | 主として円建の短期の日本国債に投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。また、為替取引（NDF取引を含みます。）を積極的に活用します。 | | | |
| 投資態度 | ①主として円建の短期の日本国債を投資対象とします。 ②各クラスにおいて、為替取引（NDF取引を含みます。）を積極的に活用します。 【各クラスの為替取引】 各クラス毎に、原則として純資産相当額の以下の為替取引を行います。 | | | |
| | クラスA－ 韓国ウォンロング | 韓国ウォン買い／ 円売り | クラスB－ 韓国ウォンショート | 円買い／ 韓国ウォン売り |
| | クラスC－ インドルピーロング | インドルピー買い／ 円売り | クラスD－ インドルピーショート | 円買い／ インドルピー売り |
| | クラスE－ トルコリラロング | トルコリラ買い／ 円売り | クラスF－ トルコリラショート | 円買い／ トルコリラ売り |
| | クラスG－ ブラジルリアルロング | ブラジルリアル買い／ 円売り | クラスH－ ブラジルリアルショート | 円買い／ ブラジルリアル売り |
| | 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。 | | | |
| 主な投資制限 | ①株式への直接投資は行いません。 ②公社債については、原則として、円建の短期の日本国債以外への投資は行いません。 | | | |
| 投資顧問会社 | T&Dアセットマネジメント株式会社 | | | |

※ 次ページ以降の記載は、ノムラ・バンク（ルクセンブルグ）エス・エーより入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2017年4月28日

| | 受益権総口数 | 純資産総額 | 1単位当たり基準価額 |
|------------------|--------|-------------|------------|
| クラスA－韓国ウォンロング | 1,096口 | 14,643,886円 | 13,361円 |
| クラスB－韓国ウォンショート | 34,879 | 176,734,316 | 5,067 |
| クラスC－インドルピーロング | 4,620 | 65,753,343 | 14,231 |
| クラスD－インドルピーショート | 1,952 | 9,162,353 | 4,695 |
| クラスE－トルコリラロング | 15,284 | 139,978,196 | 9,159 |
| クラスF－トルコリラショート | 11,007 | 79,130,695 | 7,189 |
| クラスG－ブラジルリアルロング | 8,562 | 103,574,586 | 12,097 |
| クラスH－ブラジルリアルショート | 4,422 | 23,177,351 | 5,241 |

| | |
|-------------------------|--------------|
| エマージング・カレンシー・ファンドの純資産総額 | 612,154,726円 |
|-------------------------|--------------|

(2) 損益計算書

計算期間：2016年4月29日～2017年4月28日

| | 単位：円 |
|-------------------------|---------------------|
| 費用 | |
| 運用報酬 | 94,659 |
| 管理費用 | 4,926,500 |
| 保管費用 | 598,379 |
| 銀行当座貸越に伴う支払利息 | 715,786 |
| 受託費用 | 1,081,750 |
| 弁護士費用 | 837,075 |
| 雑費用 | 47,235 |
| 監査費用 | 1,507,365 |
| その他費用 | 2,268,233 |
| 費用合計 | 12,076,982 |
| 投資損益 | (12,076,982) |
| 外国為替取引に係る当期実現損益 | 40,455,874 |
| 外国為替取引に係る当期未実現損益 | 10,716,532 |
| 運用による純資産増減 | 39,095,424 |

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2017年4月28日

外国為替取引

| 買い | 数量 | 売り | 数量 | 決済日 | 未実現損益 |
|-----|------------|-----|-------------|----------|-----------|
| JPY | 63,084,509 | KRW | 638,233,043 | 2017/5/8 | 604,763 円 |
| TRY | 273,904 | JPY | 8,169,113 | 2017/5/8 | 355,740 |
| TRY | 206,425 | JPY | 6,116,755 | 2017/5/8 | 307,894 |
| TRY | 234,069 | JPY | 6,921,606 | 2017/6/2 | 302,826 |
| INR | 4,587,321 | JPY | 7,704,040 | 2017/6/2 | 196,469 |
| JPY | 22,404,008 | BRL | 638,422 | 2017/5/8 | 152,013 |
| TRY | 308,566 | JPY | 9,401,774 | 2017/6/2 | 121,980 |
| TRY | 457,449 | JPY | 14,000,064 | 2017/6/2 | 118,887 |
| TRY | 48,124 | JPY | 1,423,079 | 2017/6/2 | 62,261 |
| TRY | 85,106 | JPY | 2,587,285 | 2017/6/2 | 39,485 |
| TRY | 20,620 | JPY | 607,865 | 2017/5/8 | 33,917 |
| TRY | 32,031 | JPY | 969,200 | 2017/5/8 | 27,720 |
| TRY | 21,913 | JPY | 662,326 | 2017/6/2 | 14,013 |
| KRW | 31,730,253 | JPY | 3,095,193 | 2017/6/2 | 8,813 |
| TRY | 27,135 | JPY | 830,476 | 2017/6/2 | 7,052 |
| TRY | 2,705 | JPY | 79,390 | 2017/5/8 | 4,814 |
| TRY | 1,677 | JPY | 49,335 | 2017/5/8 | 2,889 |
| INR | 48,838 | JPY | 82,036 | 2017/5/8 | 2,477 |
| INR | 92,859 | JPY | 158,567 | 2017/5/8 | 2,123 |
| INR | 76,667 | JPY | 130,698 | 2017/5/8 | 1,971 |
| INR | 141,470 | JPY | 241,890 | 2017/6/2 | 1,757 |
| INR | 54,795 | JPY | 93,743 | 2017/5/8 | 1,078 |
| INR | 118,843 | JPY | 204,591 | 2017/5/8 | 1,062 |
| INR | 13,296 | JPY | 22,331 | 2017/5/8 | 678 |
| KRW | 1,136,160 | JPY | 110,559 | 2017/6/2 | 586 |
| TRY | 2,279 | JPY | 69,920 | 2017/6/2 | 423 |
| TRY | 450 | JPY | 13,597 | 2017/6/2 | 316 |
| INR | 9,855 | JPY | 16,738 | 2017/6/2 | 236 |
| INR | 83 | JPY | 141 | 2017/5/8 | 4 |
| TRY | 3,717 | JPY | 114,761 | 2017/6/2 | (32) |
| KRW | 40,423 | JPY | 4,000 | 2017/5/8 | (43) |
| TRY | 6,677 | JPY | 206,163 | 2017/6/2 | (57) |
| INR | 59,770 | JPY | 103,235 | 2017/6/2 | (296) |
| TRY | 3,391 | JPY | 104,993 | 2017/6/2 | (302) |
| BRL | 9,544 | JPY | 333,254 | 2017/5/8 | (580) |

| 買い | 数量 | 売り | 数量 | 決済日 | 未実現損益 |
|-----|---------------|-----|---------------|----------|-------------|
| INR | 124,921 | JPY | 215,777 | 2017/6/2 | (631)円 |
| TRY | 26,749 | JPY | 826,407 | 2017/6/2 | (793) |
| BRL | 2,362 | JPY | 82,544 | 2017/6/2 | (830) |
| BRL | 11,678 | JPY | 405,465 | 2017/6/2 | (1,599) |
| BRL | 8,027 | JPY | 281,644 | 2017/5/8 | (1,844) |
| BRL | 7,532 | JPY | 265,446 | 2017/5/8 | (2,906) |
| BRL | 11,372 | JPY | 396,594 | 2017/6/2 | (3,334) |
| BRL | 10,133 | JPY | 356,583 | 2017/5/8 | (3,375) |
| TRY | 23,988 | JPY | 744,571 | 2017/6/2 | (4,184) |
| KRW | 23,590,936 | JPY | 2,313,415 | 2017/6/2 | (5,636) |
| KRW | 46,252,999 | JPY | 4,535,506 | 2017/6/2 | (10,816) |
| KRW | 7,099,550 | JPY | 707,641 | 2017/5/8 | (12,631) |
| KRW | 21,180,015 | JPY | 2,086,293 | 2017/6/2 | (14,362) |
| TRY | 525,692 | JPY | 16,240,810 | 2017/6/2 | (15,576) |
| KRW | 11,559,289 | JPY | 1,150,522 | 2017/5/8 | (18,927) |
| BRL | 269,124 | JPY | 9,402,507 | 2017/6/2 | (95,936) |
| JPY | 22,995,821 | BRL | 668,294 | 2017/6/2 | (114,446) |
| JPY | 9,505,992 | INR | 5,632,616 | 2017/5/8 | (241,012) |
| JPY | 9,352,741 | INR | 5,580,094 | 2017/6/2 | (257,570) |
| JPY | 14,316,699 | KRW | 149,752,670 | 2017/5/8 | (343,320) |
| JPY | 94,235,065 | BRL | 2,715,512 | 2017/5/8 | (413,160) |
| JPY | 38,627,128 | TRY | 1,274,926 | 2017/5/8 | (1,052,903) |
| JPY | 60,191,539 | INR | 35,785,694 | 2017/5/8 | (1,734,092) |
| JPY | 55,513,651 | TRY | 1,887,486 | 2017/6/2 | (2,742,652) |
| JPY | 161,368,859 | KRW | 1,689,306,037 | 2017/6/2 | (3,887,159) |
| JPY | 88,456,180 | TRY | 2,984,351 | 2017/5/8 | (4,426,981) |
| TRY | 3,007,546 | JPY | 88,456,180 | 2017/6/2 | 4,370,178 |
| KRW | 1,687,918,262 | JPY | 161,368,859 | 2017/5/8 | 3,869,694 |
| TRY | 1,872,930 | JPY | 55,513,651 | 2017/5/8 | 2,778,301 |
| TRY | 2,984,351 | JPY | 90,418,522 | 2017/5/8 | 2,464,639 |
| INR | 43,167,609 | JPY | 72,852,636 | 2017/5/8 | 1,847,085 |
| INR | 35,911,877 | JPY | 60,191,539 | 2017/6/2 | 1,657,648 |
| JPY | 48,529,079 | KRW | 488,178,707 | 2017/5/8 | 738,884 |
| BRL | 2,738,617 | JPY | 94,235,065 | 2017/6/2 | 468,991 |
| KRW | 149,875,795 | JPY | 14,316,699 | 2017/6/2 | 344,870 |
| INR | 5,560,488 | JPY | 9,352,741 | 2017/5/8 | 269,449 |
| BRL | 662,656 | JPY | 22,995,821 | 2017/5/8 | 100,822 |
| JPY | 28,340,719 | TRY | 917,350 | 2017/6/2 | 27,180 |

| 買い | 数量 | 売り | 数量 | 決済日 | 未実現損益 |
|-----|-------------|-----|-------------|----------|------------|
| JPY | 1,971,774 | KRW | 19,901,133 | 2017/5/8 | 23,555 円 |
| JPY | 3,605,315 | KRW | 36,684,141 | 2017/5/8 | 14,125 |
| JPY | 478,171 | BRL | 13,688 | 2017/6/2 | 4,808 |
| JPY | 878,337 | BRL | 25,109 | 2017/5/8 | 3,166 |
| JPY | 289,062 | BRL | 8,214 | 2017/5/8 | 2,764 |
| JPY | 126,288 | KRW | 1,264,358 | 2017/5/8 | 2,514 |
| JPY | 357,326 | BRL | 10,198 | 2017/5/8 | 1,875 |
| JPY | 17,899 | INR | 10,348 | 2017/6/2 | 76 |
| JPY | 411 | INR | 239 | 2017/5/8 | (3) |
| JPY | 14,483 | TRY | 475 | 2017/6/2 | (207) |
| JPY | 88,967 | KRW | 921,476 | 2017/5/8 | (1,241) |
| JPY | 554,006 | BRL | 15,950 | 2017/5/8 | (1,943) |
| JPY | 57,913 | TRY | 1,923 | 2017/5/8 | (1,967) |
| JPY | 148,527 | KRW | 1,539,007 | 2017/5/8 | (2,134) |
| JPY | 98,075 | INR | 58,524 | 2017/6/2 | (2,718) |
| JPY | 113,763 | INR | 67,371 | 2017/5/8 | (2,820) |
| JPY | 253,014 | INR | 148,901 | 2017/5/8 | (4,654) |
| JPY | 174,712 | INR | 103,686 | 2017/5/8 | (4,713) |
| JPY | 1,785,383 | KRW | 18,315,352 | 2017/5/8 | (7,596) |
| JPY | 3,403,672 | INR | 1,990,650 | 2017/6/2 | (24,723) |
| JPY | 826,740 | TRY | 27,900 | 2017/5/8 | (41,615) |
| JPY | 820,976 | TRY | 27,814 | 2017/5/8 | (44,709) |
| JPY | 3,166,712 | INR | 1,857,588 | 2017/5/8 | (47,765) |
| JPY | 2,589,459 | KRW | 26,977,093 | 2017/5/8 | (51,460) |
| JPY | 1,440,106 | TRY | 48,285 | 2017/5/8 | (62,712) |
| JPY | 3,285,106 | KRW | 34,431,354 | 2017/5/8 | (85,547) |
| JPY | 1,567,236 | TRY | 53,288 | 2017/5/8 | (91,273) |
| KRW | 151,291,677 | JPY | 14,954,038 | 2017/5/8 | (143,358) |
| JPY | 9,301,409 | INR | 5,537,383 | 2017/5/8 | (280,799) |
| JPY | 20,949,195 | KRW | 218,491,871 | 2017/6/2 | (424,728) |
| BRL | 2,715,512 | JPY | 95,294,807 | 2017/5/8 | (646,582) |
| JPY | 42,467,952 | KRW | 441,710,867 | 2017/5/8 | (773,280) |
| JPY | 29,387,370 | TRY | 976,156 | 2017/5/8 | (993,936) |

2,214,403

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

T & D マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第5期（決算日 2017年9月11日）
（計算期間 2016年9月13日から2017年9月11日）

「T & D マネーアカウントマザーファンド」は、2017年9月11日に第5期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 信託期間 | 信託期間は原則無期限です。 |
| 運用方針 | 安定した収益の確保を目標として運用を行います。 |
| 主要運用対象 | わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。 |

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 債組入比率 | 債先物比率 | 純資産総額 |
|------------------|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 期騰落 | 中率 | | | |
| 設定日 2012年9月5日 | 円 10,000 | % — | % — | % — | 百万円 1 |
| 1期（2013年9月10日） | 10,013 | 0.1 | 4.8 | — | 35 |
| 2期（2014年9月10日） | 10,018 | 0.0 | 4.2 | — | 40 |
| 3期（2015年9月10日） | 10,020 | 0.0 | — | — | 43 |
| 4期（2016年9月12日） | 10,016 | △0.0 | — | — | 8 |
| 5期（2017年9月11日） | 10,012 | △0.0 | — | — | 4 |

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは上昇しました。日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」等の短期金利を低位に抑える金融政策が継続しましたが、日銀の国庫短期証券買入オペ動向に対する不透明感の高まり等から利回りは上昇し、期首の△0.315%から期末は△0.183%となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国債の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%といたしました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

足許における比較的堅調な国内外の景気動向等を背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうした中、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2016年9月13日から2017年9月11日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2016年9月13日から2017年9月11日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2016年9月13日から2017年9月11日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2017年9月11日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2017年9月11日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|-------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 千円 4,500 | % |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 4,500 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年9月11日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------------|------------|
| (A) 資 産 | 4,500,575円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 4,500,575 |
| (B) 負 債 | 8 |
| 未 払 利 息 | 8 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 4,500,567 |
| 元 本 | 4,495,071 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 5,496 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 4,495,071口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,012円 |

- (注) 期首元本額 8,522,672円
 期中追加設定元本額 788,536,952円
 期中一部解約元本額 792,564,553円
- (注) 1口当たり純資産額は1.0012円です。
- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 T&D日本株ファンド(通貨選択型) マネーボールコース 4,445,150円
 ロボット戦略 世界分散ファンド 49,921円

損益の状況

当期 自2016年9月13日 至2017年9月11日

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------|-----------|
| (A) 配 当 等 収 益 | △ 60,881円 |
| 支 払 利 息 | △ 60,881 |
| (B) 当 期 損 益 金 (A) | △ 60,881 |
| (C) 前 期 繰 越 損 益 金 | 14,031 |
| (D) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 1,023,048 |
| (E) 解 約 差 損 益 金 | △ 970,702 |
| (F) 合 計 (B + C + D + E) | 5,496 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (F) | 5,496 |

- (注) 損益の状況の中で
 (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。